

NRU 国労せんだい

NO. 2471
2006年10月4日
発行責任者 太田 博二
編集責任者 武田 昌仙

全職場で安全総点検を

◆合理化のツケを労働者へ転嫁は許さない◆

東日本会社ではこの間、設備・傷害を問わず事故が続発し、しかも一向に止む気配はない。まさに非常事態であり、労働組合として看過出来る状況にはない。

会社はこの間、設備関係のメンテナンス再構築・車両メンテナンス近代化を推し進め、そしてNF2008による駅のあり方を提案、更には来春の仙台空港アクセス鉄道開業に伴い、ワンマン化によって安全運行の最後の砦「車掌」を取り払おうとしている。正に全系統で会社施策という名の「合理化」が展開されてきた(されようとしている)が、その帰結は我々労働者を利用者に「安全・安定輸送の欠落」という形で表れている。

私たち国労は、全職場・全組合員で討議を深め、安全・安定輸送を根幹から揺るがす「合理化」は許さない闘いを全ての職場から構築しよう。

運転士だけの問題ではない

ワンマン転士に大変な負担を強いられるものですが、単に運転士

だけの問題ではない。車掌が不要となれば、当然要員削減の対象となり、そして車掌不在のツケは駅係員、そして利用者へと及びぶ。9月11日、地方本部は「仙台空港アクセス鉄道関係分会代表者会議」を開催したが、そこで出された意見・討議内容を見れば、そのことが如実に現れている。以下に記載するので、職場討議の材料として頂きたい。

宮城野運輸区

運転の最後の砦は車掌だ。その砦を会社は外そうとしている。簡単に外されていいのかが。

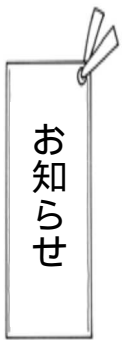
この間の基本動作指導は「日勤教育」。これをなせやってきたのかを考えなければならぬ。

仙台運輸区

東労組・JR連合は運転手の問題としている。これできつと条件闘争になってしま

う。仙台地区は、気仙沼線・陸羽東線などで2両ワンマンを導入した。こうした仙台地区でのデータを取り秋田など他地区へ普及させてきている。

車掌を乗せないということではないのか、列車の安全運



お知らせ

賃金・生活実態アンケート集約迫る！

毎年恒例の賃金アンケートですが、集約期日が迫っております。

来春闘の要求の基礎となる、重要な調査ですので、ご協力をお願いします。



働強化に繋がるだろう。駅構内での連結作業等で時間がきちんと確保されるのか。

・放送は現在のワンマンでは車内のみであり、ホームには放送しない。駆け込み乗車がある中で、仙台駅では対応が出来るのか？

誰が連絡体制をとるのか？駅間で止まったら大変。対応出来ない。

・6両ワンマンで車掌がいなのに、東北本線の3両で車掌がいる。どう見ても車掌は要らないとなってしまわな

いか？旅客はそう見るだろう。

仙台駅

・放送は自動放送。新幹線が遅れた場合、対応出来るのか？

・遺失物の対応は出来るのか？



岩沼駅連

・駆け込み乗車はあるだろう。

列車本数80本は増え、労



私たち乗客の安全を確保してください！

80本の増便で、駅員の回しがきくのか？
運転士は列車運転の安全、車掌は乗客の安全を守る(人が人を守る)。会社は後者を乗客に求めている。
仙台駅の電子連動化に伴う事故時や遅れの現状把握が必要。
現在の2両ワンマンの問題点の把握も必要。

現場のずさんな保安体制が明らかに

◆電気協議会が緊急集会◆

国労仙台地本電気協議会は9月13日と14日の両日にわたり、郡山地区と仙台地区に於いて安全問題に関する緊急集会を開催し、職場実態を出し合い全体で討論を行った。

この集会が開催された背景には、この間 新白河駅構内での軌道内への立ち入り 幹総での退避誤り 新庄構内での保安体制不備、が連続して発生していることに鑑みて、支社が対策として打ち出した「保安体制に関する緊急取組みについて（仙設企187号）」に端を発している。

その中では具体的取組



として、(1) 技セ長は保安体制に対するルールの再徹底 職場風土にあったスローガンの作成

郡山地区集会

取組みについては、科長がまとめるという事で個別には目標は確認していない。

沼上信号所の保安体制は10名の見張りが必要であったが是正された。線路閉鎖を取れる人が居ない(資格がない)。

P会社は厳しく保安体制が問われるが、JRでは安全科長が線路閉鎖資格がない。

設計の現場調査では、輻輳してくと単線の見張りは一人のところを一人でやることも。

技セ長は保安体制が不十分でも「待て」や「線閉」取れと言わない。目標を「線閉取って入る」にした。資格者が居らず軌道回路落とし(軌道短絡)、巡回した。

5名必要な仕事も2、3名でも出かける。保安体制のチェックがない。指定もない。

(2) 各社員はスローガンにあった取組み内容を作成(3) 取組んだ内容を四半期毎にCS会議等で発表する、となつてい

る。しかしこれは保安体制のルールが在るにもかかわらず、これを守らないものが悪いのだとする会社側のすり替えの理論ではないか。百歩譲って仮にそうした面があつても、守れる環境や作業方法、教育の問題など、常

に会社がチェックし、守れるルールにする責任があるのではないか。これまでも事故が発生すると「ルールを守らない者が悪い」とするだけで対策を講じてきている。

また、現場に責任を押し付ける支社と、こうしたルールを平然と破る職場管理者が存在する状態、自浄機能がもはや危機的状態になっている。二日間の集会で明らか

教育がなされていない

線閉の資格がなくても手続きはしている。

原則線閉を目標にしたが「こんな硬いことではなく簡単に」と言われた。本気で社員の命を守る気はないと思つた。丸投げである。形式として「ルールを守る」になっている。

駅ホームでケーブルが建築限界支障した。緊急事態、すぐ行け」と会社。「線閉取ってくれ」とのでやり取り。若手社員は笑っている。

仙台地区集会

「見張りは必要ないのか」と聞くと初めてやってくれとなる。

通信は昔から障害を早く復旧させることが優先されてきた保安は二次(通信技セ主催の工事立ち会いで、他箇所)の管理者から「この保安体制では立ち会い作業は出来ない」と断られた。作業指示で見張りを指定していない。作業内容や条件が違っていても同

じ体制。

線路閉鎖資格者がいない。安全もテムス任せになっている。

自分達もそうだが若い連中はもっと危ない。簡単に線路内に入ってしまう。これでは近い将来若い人が触車で死ぬ異常時で線路に入る際に指令に確認するようになっただけ進歩だ。

保安体制を組むと人も時間もかかる(ので面倒)。

仙台地区集会

退避している時間があればあそこまで行けたのに、と思ってしまう。



仲間の異動

佐藤 正彦氏(9月17日付) 東十条駅 郡山駅
横山 俊美氏(9月17日付) 大森駅 郡山駅

佐藤 光秋氏(9月17日付) 水道橋 新白河(白河)駅

お知らせ

国労会館建設資金返済業務の取り扱い変更について

国労会館建設資金返済業務は1999年度末償還期限以降、(財)国労会館仙台事業部で取り扱いを行ってきたところですが、

このたび返済業務が一定の整理を見たこと等から、(財)国労会館仙台事業部で取り扱ってきた業務の残りについて、国労仙台地方本部で引き受けることになりました。つきましては、今後の国労会館建設資金返済請求については下記に請求をしてください。

記

住所 〒984-0015

仙台市若林区新寺一丁目

名称 国鉄労働組合仙台地方本部 担当係 岡崎

連絡先 TEL 022-2993-7460 FAX 022-2997-4335

請求方法 所定の請求書に必要事項を記載の上、国労会館建設資金受領之證」とあわせて提出してください。

以上